



2019年3月14日

各位

会社名 株式会社エルテス  
 代表者名 代表取締役社長 菅原 貴弘  
 (コード番号: 3967 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 松林 篤樹  
 (TEL. 03-6550-9280)

通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

2018年7月12日付「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました通期業績予想につきまして、その後の業績動向を踏まえ、以下のとおり修正することといたしました。

また、当社の連結子会社である株式会社エルテスキャピタルは、2019年2月期第4四半期(2018年12月1日～2019年2月28日)において、投資有価証券評価損を特別損失として計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2019年2月期通期連結業績予想値の修正 (2018年3月1日～2019年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,800	100	100	40	7.80
今回発表予想(B)	1,653	37	34	△66	△13.05
増減額(B)－(A)	△147	△63	△66	△106	
増減率(%)	△8.2	△63.0	△66.0	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2018年2月期)	1,608	72	72	32	6.27

(業績予想の修正理由)

当社が属するインターネットビジネス業界は引き続き成長を遂げており、ソーシャルメディアに関するリスクに対する企業の意識はますます高まっております。このような環境の下、ソーシャルリスク事業のさらなる拡販体制強化を図るため、営業組織体制の見直し等を継続しておりますが、2019年2月期につきましては当初の目標に達せず、前年度に比べ売上高は微増にとどまりました。その結果、売上高につきましては、前回公表予想値を147百万円下回り1,653百万円となる見込みです。

また、研究開発活動の増加、ソフトウェア償却費の増加、子会社の新規事業の立ち上がりが遅れている影響等により、営業利益は前回公表予想値より63百万円減少し37百万円、経常利益は66百万円減少し34百万円と

なる見込みとなりました。

さらに、2018年12月20日に公表いたしましたとおり、特別損失として投資有価証券売却損21百万円を計上しておりますが、次項に記載のとおり投資有価証券評価損19百万円を計上することいたしました。そのため、親会社株主に帰属する当期純損失が66百万円となる見込みとなり、前回公表予想値を修正するに至りました。

※上記の予想は、本日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 特別損失の計上について

当社の連結子会社である株式会社エルテスキャピタルが保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したものについて減損処理を行い、2019年2月期第4四半期において特別損失として投資有価証券評価損19百万円を計上することいたしました。

以上